

「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（千葉市分）」について

今年度を実施した、「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（千葉市分）」について、お知らせします。

1 趣旨・目的

- (1) 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査概要

(1) 実施時期

令和5年4月～7月

(2) 調査対象

ア 市立小学校 107校の第5学年 計7,434人

イ 市立中学校 54校の第2学年 計6,519人

(3) 調査事項

ア 実技に関する調査

イ 質問紙調査

3 結果概要（詳細は別紙参照）

(1) 体力・運動能力の状況について

千葉市の児童生徒の体力は、体力合計点では小中学校男女の全てにおいて、全国平均を上回っている。種目ごとに見ると、小学校男女の握力、ソフトボール投げ、小学校女子の上体起こし、シャトルラン、中学校男子の反復横とびは全国平均を下回り、その他の種目では上回っている。

(2) 運動やスポーツへの意識について

「好き」と「やや好き」を合わせると、小学校男子は93.6%、女子は85.6%、中学校男子は90.1%、女子は78.5%であった。全国平均と比較すると、小学校女子以外は上回っている。また、本市の令和4年度との比較においては小学校男子・中学校女子が上回った。

(3) 運動部活動の状況について

運動部活動の1週間あたりの実施時間は、男女共に全国平均を上回っている。昨年度と比較して1週間あたりの実施時間が、男子は約20.5分、女子は約53.6分長くなっている。